

～次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2025 JA佐渡の経営内容



写真： 赤く色づいたネクタリン

プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本 店 所 在 地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	25.8億円
総 資 産	1,431億円
組 合 員 数	15,876人 (正組合員6,920人・准組合員8,956人)
職 員 数	441人
店 舗 数	本店、支店7店

(令和7年5月31日現在)

※総資産については令和7年2月末現在です

令和6年度JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

※令和5年度までは合併前のJA佐渡の実績です。

主要勘定の推移

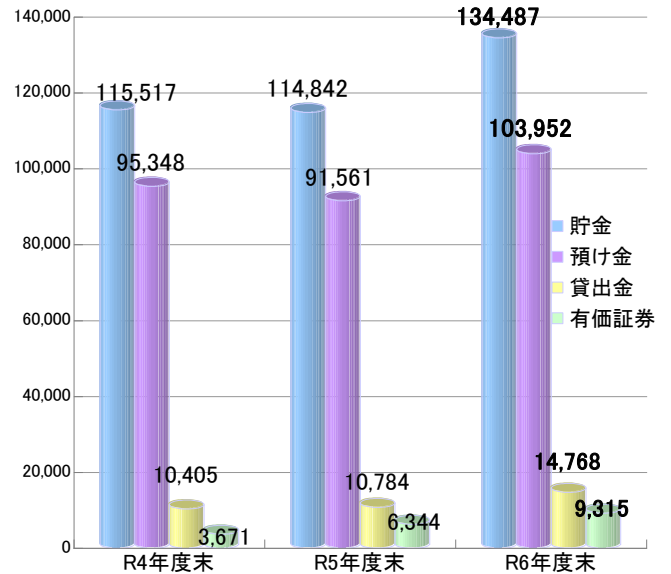
(単位:百万円)

	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
貯金	115,517	114,842	134,487
預け金	95,348	91,561	103,952
貸出金	10,405	10,784	14,768
有価証券	3,671	6,344	9,315

○貯金残高は合併により前年比 117%となりました。相続により貯金流出が増加する中、年金受給者・予約者や、大口貯金者への訪問による貯金残高積み増しの取り組みのほかネットバンクの推進など新たな取引拡大に取り組みました。

○貸出金は、住宅関連資金の推進を中心とした生活資金への対応や佐渡市への融資等の対応などにより残高は増加しました。

○有価証券は、安定的な運用収益の確保に取り組みました。運用収益は計画比 134%、前年比 150%となりました。

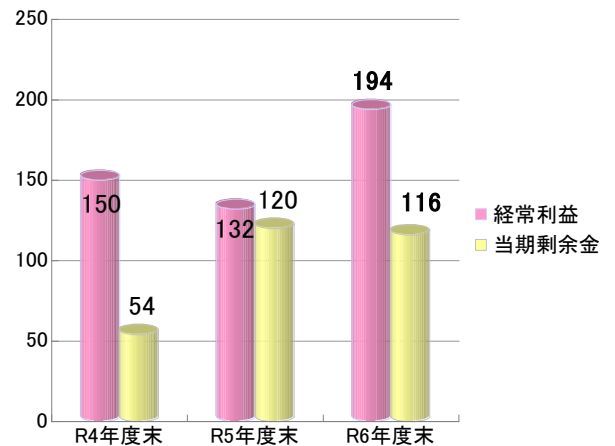


収益等の推移

(単位:百万円)

	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
経常収益	6,267	6,498	7,576
経常費用	6,117	6,366	7,381
経常利益	150	132	194
当期剰余金	54	120	116
未処分剰余金	93	183	187

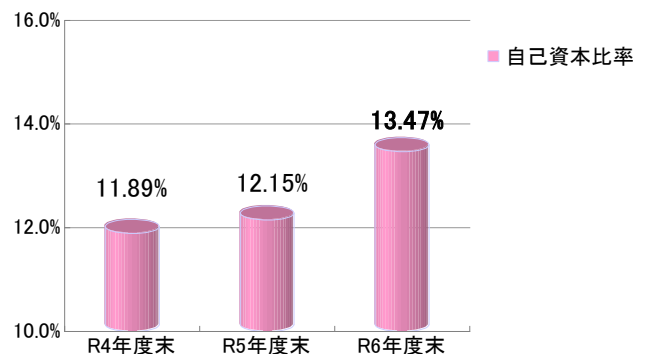
○令和6年度の事業総利益は2,857百万円(前年度2,543百万円)となりました。事業管理費は2,766百万円(前年度2,484百万円)となり、事業利益91百万円(前年度58百万円)当期剰余金116百万円(前年度120百万円)となりました。



自己資本比率の推移

(単位:百万円)

	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
自己資本額(A)	5,750	5,782	6,996
リスクアセット(B)	48,335	47,566	51,931
自己資本比率 (A) ÷ (B) × 100	11.89%	12.15%	13.47%



○当JAの自己資本比率は13.47%であり、国内基準(4%)及び国際統一基準(8%)を上回る財務基盤を維持しています。自己資本増強のため、組合員加入促進の取り組みや内部留保に努めています。

自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

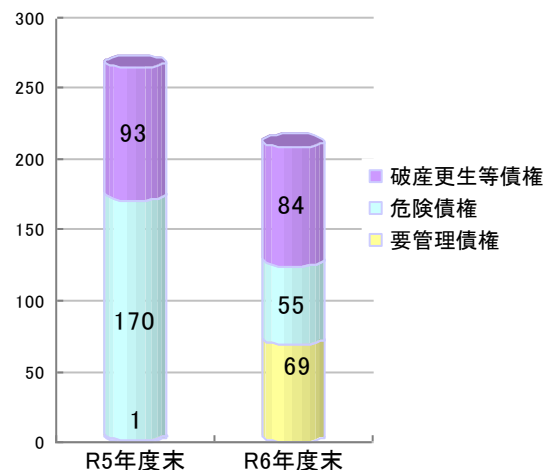
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法開示債権の推移

(単位: 百万円)

	R5年度末	R6年度末
破産更生等債権①	93	84
危険債権②	170	55
要管理債権③	1	69
小計(①+②+③=A)	265	210
正常債権④	10,598	14,653
債権額合計(A+④=B)	10,864	14,863
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	2.44%	1.41%



開示債権と保全の状況 (R6年度末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位: 百万円)

自己査定と保全の状況						
債 務 者 区 分		残 高 A	担 保 等 保 全 額 B	貸倒引当金 C	保 全 率 (B+C) ÷ A	
破 綻 先		0	78	33	100.0%	
実 質 破 綻 先		112				
破 綻 懸 念 先		64	57	6	99.5%	
要 注 意 先	要 管 理 先	85	75	6	95.8%	
	その他要注意先	244				
正 常 先		17,241				
合 計		17,748				

金融再生法開示債権 (経済債権を含む)	
区分	残高
破産更生等及びこれらに準ずる債権	84
危険債権	55
三月以上延滞債権	—
貸出条件緩和債権	69
正常債権	14,653
合計	14,863

自己査定と保全の状況について

佐渡農協の基準により自己査定しております。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く三月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券の時価及び評価差額に関する事項

(単位:百万円)

保有区分	R5 年度末			R6 年度末		
	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	2,098	2,109	10	4,699	4,548	△150
そ の 他	4,605	4,246	△358	5,305	4,616	△688
合 計	6,703	6,355	△348	10,004	9,165	△839

(注) 1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「農業メインバンク」として社会的責任を担っております。

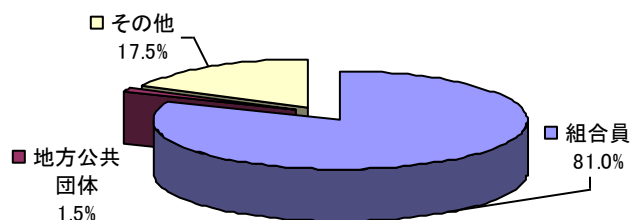
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長、土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「生活メインバンク」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	108,962
地 方 公 共 団 体	2,034
そ の 他	23,489
合 計	134,487

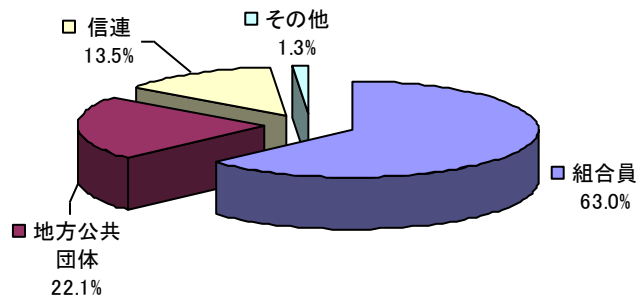


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	9,302
地 方 公 共 団 体	3,266
信 連	2,000
そ の 他	199
合 計	14,768



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせて営農指導員等、他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。

こうした活動を円滑に実施するため「農業経営アドバイザー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟またはJA独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

主な農業関係の貸出金残高（資金種類別）

〔貸出金〕

（単位：百万円）

種 類	R5 年度末	R6 年度末
プロパー資金	1,374	1,372
農業制度資金	126	95
農業近代化資金	64	47
その他制度資金等	62	48
合 計	1,501	1,468

1. プロパー資金とは、当組合原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパース資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

自己改革の取り組み

第10次中期3カ年計画（令和4年度～令和6年度）「アクションプラン」に基づき、自己改革の実践に取り組みました。主な取り組みについて、次のとおり報告します。

◆農業振興等に関する取り組み

令和6年産米は、米不足の中での価格上昇に合わせ仮渡金単価は前年から5,000円/俵以上の増額となりました。米の販売高は47億470万円（計画比101%、前年比118%）と計画、前年ともに上回りましたが、品質面では、夏場の日照不足による登熟不良や収穫期の連続長雨の影響を受け、コシヒカリの1等米比率は52%、作況指数は95となり、品質・収量の低下に課題を残す結果となりました。卸・実需との事前契約数量を大幅に下回る状況から集荷積み上げのため個別訪問や出荷期間延長に取り組みましたが、通販や佐渡市ふるさと納税での取り扱いなどの需要増に対しても十分に対応することができませんでした。

おけさ柿は、病害虫の発生や気象災害は少なく肥大も順調で大玉比率、収量ともに前年を上回りました。15億380万円（計画比125%、前年比114%）の販売高となった一方、加工柿は原料の確保に苦慮し、1億6,400万円（計画比79%、前年比90%）の販売高でした。その他果実の販売高は1億9,397万円（計画比104%、前年比137%）でした。

野菜は、夏から秋にかけての高温による生育不良のため、前年並みからやや少ない出荷量となりました。全国的に高単価での販売となったことから販売高は5,047万円（計画比65.2%、前年比98.1%）となりました。

子牛市場は、335頭（内4頭は島外市場、計画400頭、前年386頭）の上場となりました。販売高は1億4,613万円（計画比61%、前年比74%）、市場平均価格は43.6万円と昨年より下落しました。繁殖牛の生産者は50件、飼育頭数は582頭となっています。CBSでは生産者から30頭を受託し、生産支援に取り組みました。肥育牛出荷は52頭、肥育頭数は88頭となりました。販売高は5,385万円（計画比103%、前年比130%）でした。乳牛の搾乳頭数は132頭、1頭あたりの1日搾乳量は25.9kg

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

(目標 28kg)、年間集乳量 1,250t(計画 1,164t、前年 1,165t)となりました。販売高は 1 億 7,945 万円(計画比 116%、前年比 112%)、課題であった夏場の暑熱対策の効果もあり前年の集乳量を上回りました。

◆農業経営支援の取り組み

集落営農や組織化・法人化に向けた集落での話し合いや研修会を 4 件実施し、2 件が具体化しました。また、JAの就農研修生 7 名のうち令和 7 年春から 1 名が法人へ就農し、3 名が独立就農しています。その他、Web農業簿記データによる農作業経営健康診断書に基づき、56 件の生産者に面談による改善提案等を実施しました。

◆経営改善の取り組み

経営改善委員会では、早期警戒制度への対応を含めた将来的な経営改善方策の検討と進捗管理を継続しています。また、CBS・和牛センターの運営改善に向けた改善策の策定、進捗等について畜産経営会議等の他、将来に向けた事業拠点の見直し等についても検討を行っています。

合併に伴い、総務、管理部門を中心とした業務合理化と管理コスト削減を進めました。

これからも地域と共にある J A を目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

◇Aコープ店：食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に8店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所：平成26年にオープンしたJA直営直売所「新鮮空間^やよらんか^{せいせい}舎」と「菜^や菜^{せいせい}きて屋まの」JAコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。

◇セレモニーホール：増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド：本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内4か所に設けております。



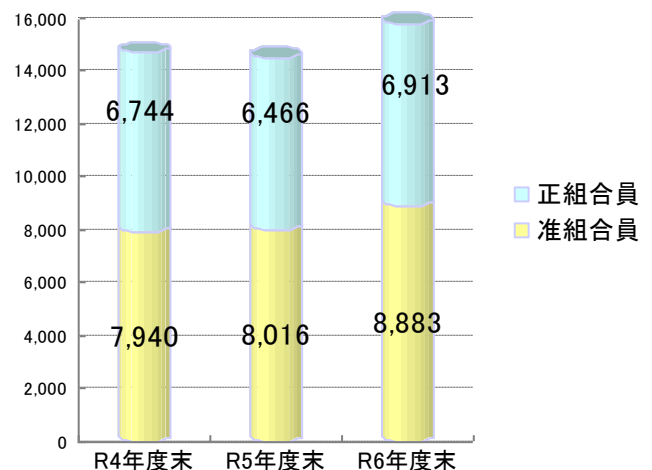
写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

組合員数の推移

(単位：組合員数)

	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
正 組 合 員	6,744	6,466	6,913
准 組 合 員	7,940	8,016	8,883
組 合 員 計	14,684	14,482	15,796



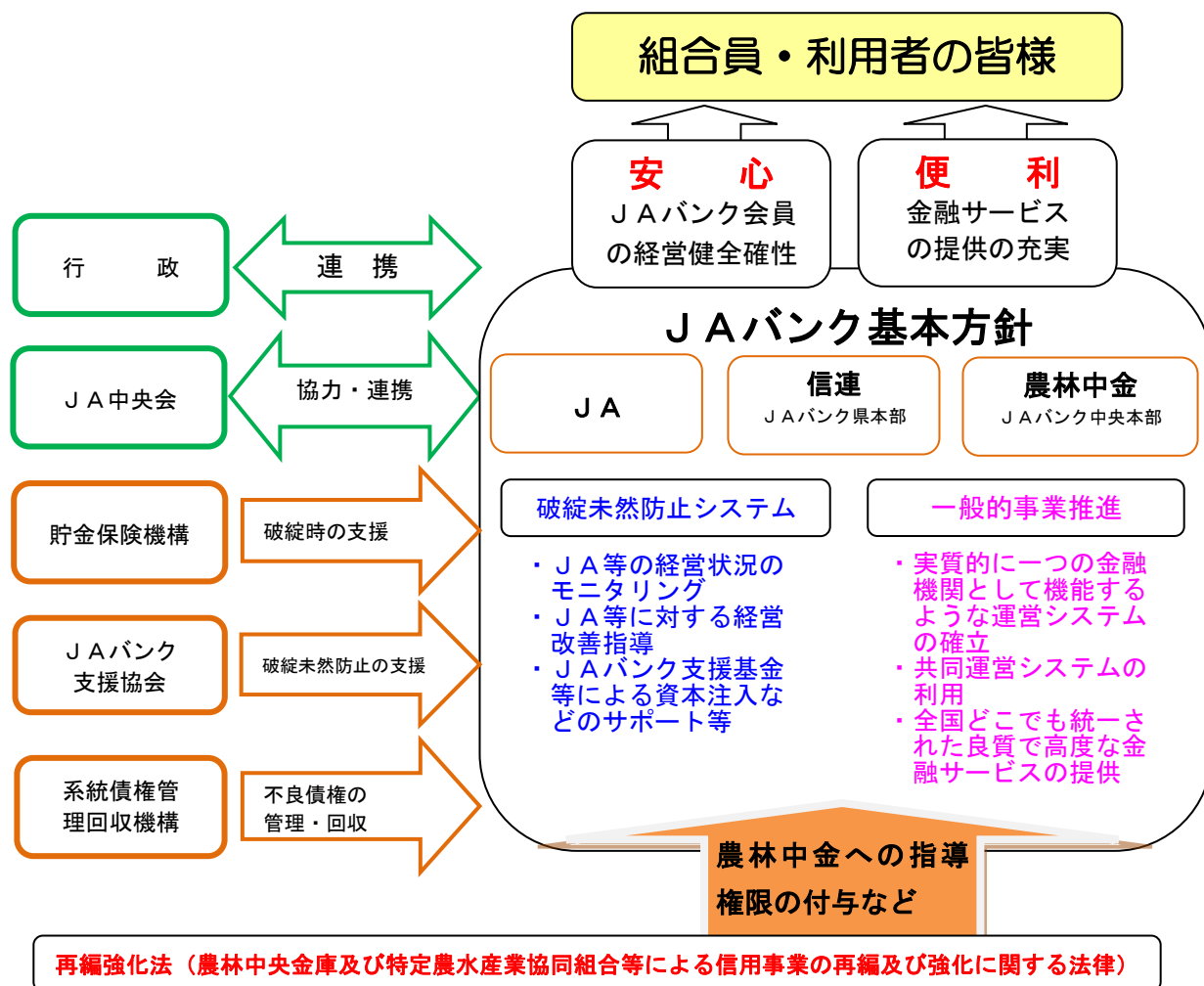
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者みなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



JAバンク・セーフティーネット

破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

+

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。